

第 68 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時:9 月 1 日(水) 17 時 00 分～18 時 30 分

場 所:実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者:Dr. Arthur R. Hand

(米国 コネチカット大学 小児歯科学 教授・中央電子顕微鏡施設長)

タイトル:「Tlx-1 変異マウスにおける唾液腺の表現型」

Dr. Arthur R. Hand は、米国国立衛生研究所・歯科医学研究部門(NIH-NIDCR)で長年唾液腺の研究を行い、“Orban-口腔組織学・発生学”など口腔組織学の教科書で唾液腺の章を執筆し続けるなど活躍しておられる。また Journal of Dental Research の前 chief editor として同誌の評価アップに尽力されてきた。NIH を退職された後、現在はコネチカット大学で電子顕微鏡施設長としてその施設拡充に貢献され、免疫電顕技術を中心に、唾液腺のみならず細菌の膜タンパク発現など多方面との共同研究を通し、若い形態学研究者の育成にも精力的に活躍しておられる。また当大学から Dr. Hand の元には口腔解剖学第 2 講座・松浦幸子講師が post doctoral fellow として留学し(1989-91 年)、最近もまた唾液腺の共同研究を立ち上げ交流を図っている。

今回は、唾液腺の微細構造と、種々分泌タンパクの抗体を用いた免疫電顕技術の紹介とともに、最近の研究である胎生期唾液腺を含むいくつかの顔面関連器官形成に関与することが報告されている転写調節因子である Tlx-1 の役割について、その遺伝子欠損マウスでの唾液腺の解析結果についてご紹介頂く。